

赤富士北祭先生選評

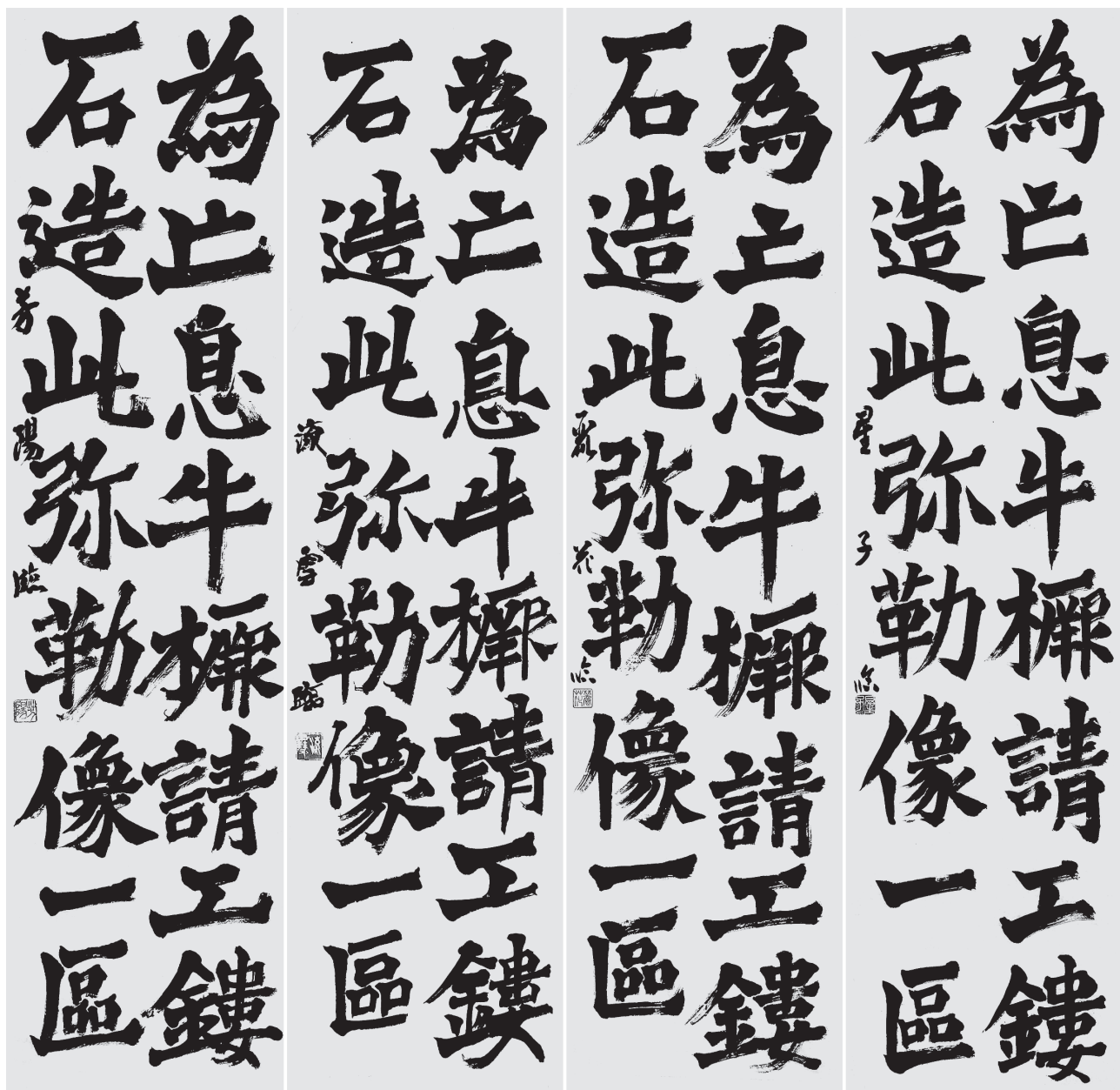


江戸聖采 推薦
強い筆のタッチに惹かれる作。滲みを活かした多様な線質の表現から、後鳥羽上皇のやるせない心情が伝わってくる。ひらがなの処理も素晴らしい個性光る作。

二塚花雪 推薦
超長鋒の筆を自由自在に操りながら、文字の傾きによる行の揺れが楽しい。見る者に何か語りかけるような情緒が表現されていて、余白が美しい作品。

織田智江 推薦
大胆に紙面からはみ出しながらも脚部を絞ってほどよい緊張感を添えた作。現代的で新鮮な表現の中に、古典を日頃から学んできたことが書の風格となって迫ってくる。

東谷美子 推薦
古筆に見える文字の振幅の美しさがある作。ソフトな中に歌のリズムを取り込み、時折見せる紙面に食い込んだ線の働きが見事な作品。公募展は詩文書も是非。



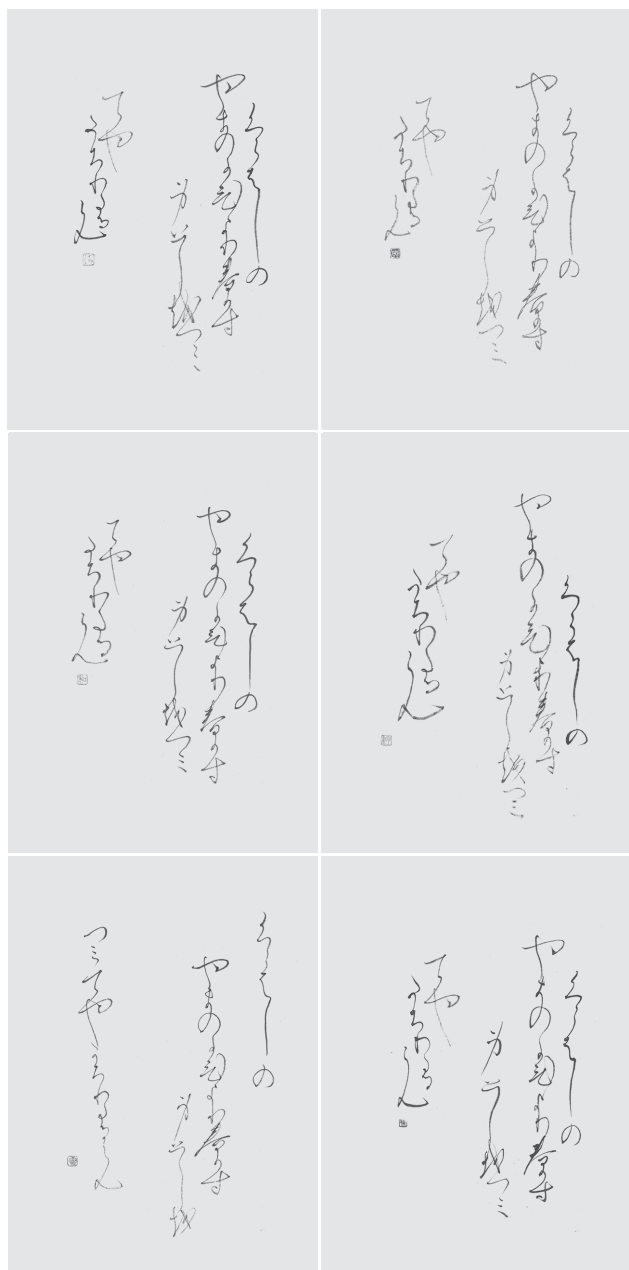
桐谷星子 推選
起筆、転折の力強さや、左右の払い、収筆の纏め方など、良く牛櫛造像記の特徴を捉えていて、敬服致しました。造形、余白の取り方等、申し分ありません。

増田麗花 推選
ゆったりと運筆されていて、懐が広いですね。落ち着きがあり堂々と書作されていて、明るい作品になりました。力強い収筆や払いも良く、好感が持てます。

橋本流雪 推選
独特な形体やリズム感に魅力があり、爽やかな雰囲気を出しています。一貫性のある流れが心地よいです。横画や縦画、起筆の打ち込みが秀でています。

鈴木芳陽 推選
力強い迫力のある筆致に感動しました。思いつきの良い伸びやかな運筆と優れた形体は、格調の高さが窺われます。全体の配置も素晴らしいです。

露崎桂子先生選評



大鈴佐智子 準七
滑らかな筆圧の変化ある伸びやかな運筆で連綿にも安心感があります。文字の疎密をもう少し気を付けると更に奥深い作になるでしょう。

山中和子 準五
穏やかな書き出しで、流れを良く捉えている。優しさを感じる明るい作です。更に印象深い作にするために、もう少し線質の鋭さが欲しい。

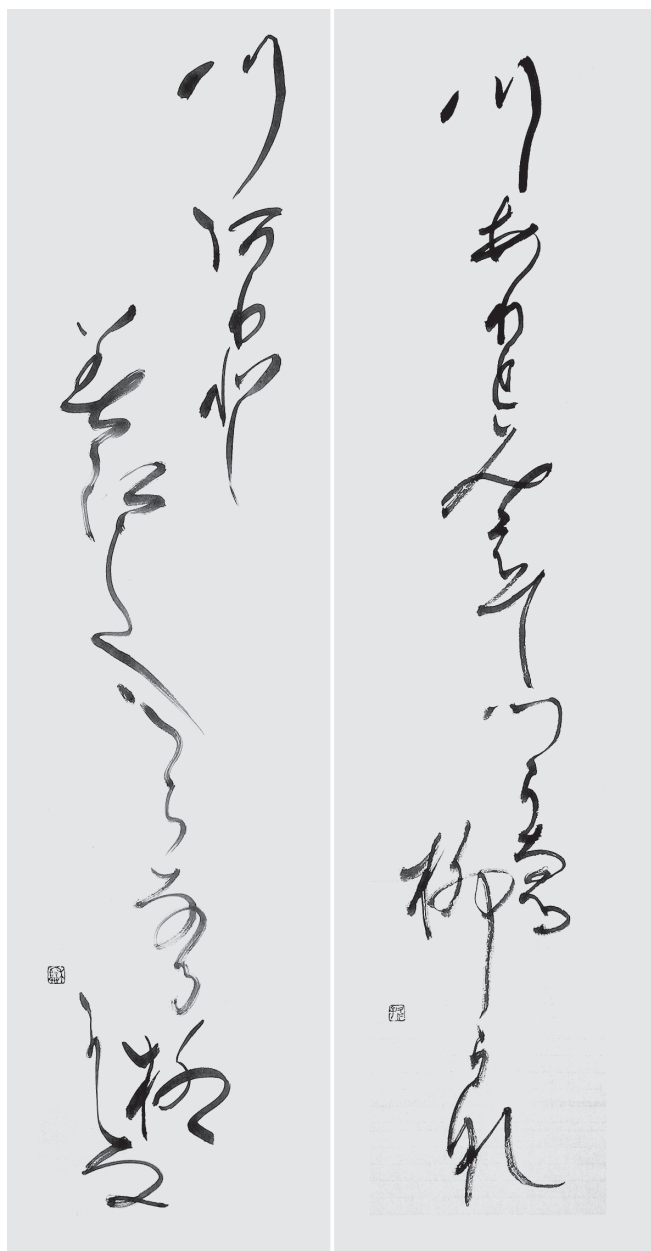
岩本ゆき子 四段
規定手本とは違うちらしですが、香紙切の特徴を良く捉えた優れた臨書作品です。やや筆圧の変化が加わると更に存在感が増すでしょう。

木村典子 師範
淀みない筆線でも伸びやかに書かれて、紙面に良く収まっています。もう少し墨色が濃いと香紙切の鋭い線質が良く表現されるのでは。

石本絢子 師範
原帖の特色を良く捉えて、スピード感のある運筆が魅力です。墨色の変化も美しい。前半、もう少し行間の違いがあれば、更に魅力ある作に。

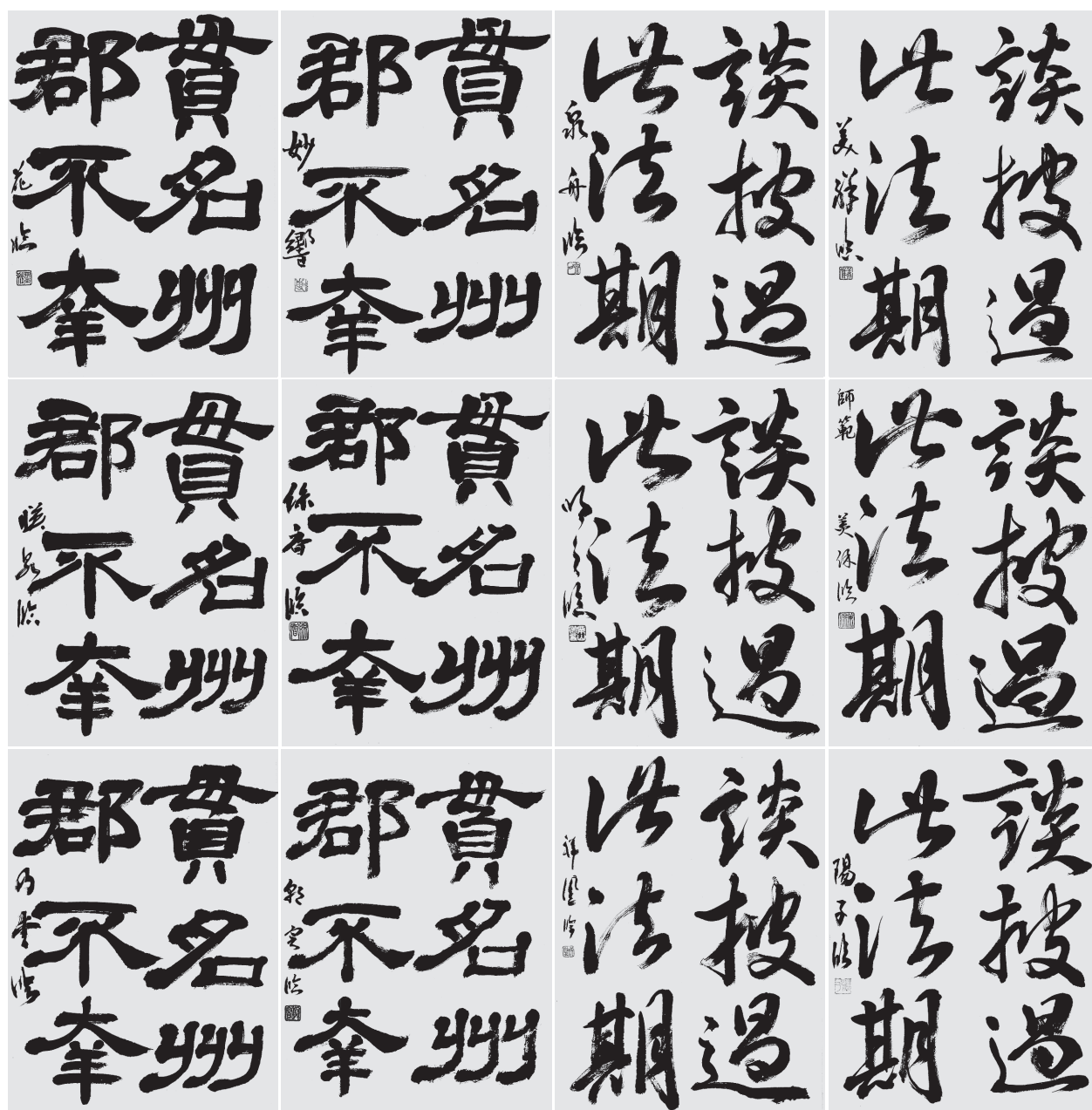
下村佳風 準師
伸びやかなよく練れた運筆で自然な流れに書かれています。濃墨の筆線が映え、潤渇の変化も美しい。原帖の自由な筆致を良く捉えています。

笠原博子先生選評



得田和 推選
墨色温かく、墨の推移も美しい。生き生きと筆が動いている。句意をイメージする紡ぐ文字の連なりは流れ良く見事。初句字をやや小さくすると余白がより輝く。

栗田久仁子 推選
落筆高く、ゆったりとした呼吸から深く引き締まった筆線は、リズムカルに繰り出す軽妙な筆致へと続く。冴えた線は余白に響き、潤渇の変化も美しい。



- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>富永美祥 師範
力みなく躊躇ない運筆、そして原帖を良く観ています。特に二・三字目など師範の風格を感じます。渴筆が少し欲しかったか。お名前も見事です。</p> | <p>檀泉舟 準六
半紙と墨量、スピードの相性が素晴らしい、力みはないのですが、重量感あるしつかりした線が魅力。少し渴筆が欲しかった。素敵な印ですね。</p> | <p>谷澤妙響 師範
落ち着きがあり、藏鋒、波磔も良く出来ており、流石師範だなあと感じました。多少の渴筆があってもいいのかなあ？お名前やや大きいですね。</p> | <p>石井美保 師範
下二字や大きかったか。基本的に一、五字目で墨後は中、少なめと行きたい所ですが、一気呵成リズム良く線が生きています。お名前もう少し太く。</p> |
| <p>藤井花 準五
元氣よくはつらつと書けています。躊躇しそうな二行目右払いも伸びやかでいいですね。この調子で次号からの木簡隷もリズム良く頑張ってください。</p> | <p>鈴木絲香 師範
墨量充分で力強く藏鋒、波磔もお見事です。やはり「郡」で少し渴筆が欲しかったのと、「州」の二四六画目、少し長かったか。</p> | <p>栗山明之 二段
筆圧の軽重良く円い筆を見事に使いこなして遅速の変化もあり素晴らしい。やはりリズムがいいのです。お名前もお見事です。二段？又、すごい。</p> | <p>片岡陽子 六段
「此」で渴筆、「法」で墨入れたかったですね。動き大きく意先筆後（行書の基本）大ききも良く素晴らしいです。お名前の「陽」の横画、長くしたいです。</p> |
| <p>細永映泉 準四
落ち着きがあり、力まず、伸びやかで明るい線が魅力です。持味大切にしてくださいね。「郡」の程良い渴筆がいいですね。印が欲しいです。</p> | <p>松村朝実 準八
墨量が足りないせいかやや線が渋い。筆圧の軽重が欲しい所でしょうか。藏鋒、波磔いいですね。六字目もつと長くしたかったですね。</p> | <p>岩本祥風 初段
貴方も四字目で渴筆、五字目で墨欲しかったが初段とは思えない筆遣い腕前です。筆のからみ、くじきが見事。残念なのが名前何とかなしたい。</p> | <p>綿貫乃愛 準三
準三段ですか？素晴らしい隷書です。右上がりにならず藏鋒、波磔もお見事です。隷書好きですね？次号からの木簡隷書もリズムで頑張ってください。</p> |